

終章

1. 理念・目的・教育目標の達成状況

本学は、学是「仁」（人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心、これ即ち「仁」）と理念「不断前進」（現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力し続ける姿勢）に則り、「三無主義」（出身校、国籍、性による差別無く優秀な人材を求め、活躍の機会を与える）の学風を掲げ、5 学部 3 研究科 6 附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療そしてリベラルアーツを通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めている。

ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに則した教育を展開し、学生と教員の距離が近く、きめ細かな指導を実践している。この結果、学部における学修成果の指標として重視している各国家試験合格率及び就職率は、いずれも毎年、全国平均を大幅に上回る実績を上げている。

大学院における学修成果の指標としては、学位論文の質を重視している。インパクト・ファクター（IF）やサイテーション・インデックス（CI）の高い論文が数多く発表されていることは、当大学院に質の高い大学院教育とともに優れた研究成果を生み出せる確かな指導力があることを証明している。

今回の自己点検・評価の結果から、大学全体としては、教育・研究関係、学生関係、管理運営・財務関係において、それぞれの基準を満たしていると考え、継続的に様々なレベルで PDCA サイクルを回し、大学改革を進め、更なる高みを目指していきたい。

2. 優先的に取り組むべき課題

1) 大学基準協会の指摘事項への対応

本学は、2016(平成 28)年度、(公財)大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審し、適合判定を受けている。その際、5 つの努力課題の指摘を受けた。既に改善できたものもあるが、対応に時間を要するものもあり、引き続き検討を進め、着実に改善を図っていきたい。

2) 3 つのポリシーを起点とした PDCA による教育・研究の質保証

2017(平成 29)年 3 月、文部科学省ガイドラインに則して、3 つのポリシーを改正した。今後は、3 つのポリシーを起点とした PDCA サイクルを回し、教育・研究等に関する内部質保証システムを確立していくことが必要になる。「学生が何を身につけたか」という観点を重視して、学修成果の把握が適切にできるように評価方法を確立していく。また、カリキュラムの改善に関しては、現行カリキュラムを評価し、改善の提言を行うカリキュラム評価委員会を各学部・研究科に設置した。教務委員会やカリキュラム委員会とは別の組織で、客観的な評価を行うことにより、教育の質向上に向けた PDCA サイクルを確立していく。

3) 国際化の推進

国際化推進方針である「国際化ビジョン」に基づき、学位取得留学生数、短期受入留学生数、海外留学・派遣・研修等学生数及び国際交流協定校数の増加を図るよう取り組んでいきたい。

教育の国際的通用性に注目が集まる中、本学では、「TOEFL」、「IELTS」を中心とした英語教育を全学で推進している。入学試験においても、国際化に対応できる素養を持った学生を求め、両試験に代表される外部評価機関の得点を出願条件に加える等の改革を継続したい。

研究面では、基礎医学と臨床医学が有機的に連携する優れた研究体制を築いてきたことが、

終章

多数の国際レベルでの論文発表に繋がっている。引き続き、国際共同研究を推進し、質の高い論文数の増加に注力していきたい。

4) 内部質保証推進組織の整備

本学は、これまで自己点検・評価を通じて、教育・研究等の質保証に取り組んできた。今後は、(公財)大学基準協会の第三期大学評価基準で求められる内部質保証システムの有効性を高めるため、全学的な教学マネジメントを行う「内部質保証推進組織」を整備し、PDCAサイクルの実効性を高めていきたい。

3. 今後の展望

1) 大学キャンパス・ホスピタル再編事業

本事業は、2016(平成28)年度で9年を経過したが、当初方針の通り原資を手元資金で賄い、財務状況に影響を与えることなく各キャンパス・附属病院における施設の拡充計画が順調に推移している。特に、本郷・お茶の水キャンパスでは、順天堂医院の建替えが進むとともにセンチュリータワーを中心とした教育研究環境を飛躍的に改善できている。今後は、研究・実習ゾーンでは、2018(平成30)年12月の竣工を目指して新研究棟(A棟)の建設を進め、病院ゾーンでは、B棟、C棟完成後の病院機能の移転・再編に伴う1号館外来部門・病棟部門の再編のための改修工事を予定している。計画に沿って着実に事業を進めていきたい。

2) 教育・研究組織の規模拡大

本学への志願状況は、入学定員を大幅に上回っていることから、既存学部への入学定員増を計画している。また、第6番目の学部として、理学療法士及び診療放射線技師を養成する新学部の設置準備を進めたい。本郷・お茶の水キャンパスにおいて、医学部及び順天堂医院と連携して一体的に教育・研究に当たれるように、体制を整備していきたい。

4. おわりに

大学を取り巻く環境や大学に求められることが変わろうとも、本学における学是「仁」をもとにした教育と理念「不断前進」の精神がぶれることはない。今後も順天堂は、永き伝統を継承し、自ら改革をすることを怠らず、教育・研究・診療の質を高め、国際的にも評価され続ける「健康総合大学・大学院大学」として発展させていきたい。

2017(平成29)年9月

自己点検・評価運営委員会委員長

順天堂大学学長 新井 一